

安定化に努める」といった宣言ができれば、台湾海峡や朝鮮半島を含め世界の平和維持に大きな影響を与える」

「サミットの有効性について聞きたい。」
 「ワールド・ガバナンス(世界統治)」という立場から、重要性は増している。蔵相、外相会合とは別に、通商、環境、教育、テロ対策などの会議があり、集大成が首脳会議だ。昨年のケルン・サミットで、NATOが国連決議を経ずに行ったコソボ空爆をG8が収束させた。サミットは世界秩序の安定に不可欠だ」

「IT(情報技術)宣言はいいことだ。情報に先進国も途上国も公平にアクセスできることが重要。ITを世界安定のための国際公共財として援助することが大事だ。言語交換が可能なハード整備面での協力を、世界戦略として取るべきだ。デジタル化が進むと、放送、通信、コンピュータ、インターネット、データベースの総合的システムを利用するための地上回線、衛星回線、CATVなど多面的なシステム統合の動きが出てくる。サミットはデジタル・ディバイドを深くしないよう公正な標準化に努力していくことが必要。法の整備、合理的な国際システムの選択に関し、サミット担当者と国際専門機関との連絡協議会の設置も視野に入れるべきだ。G8首脳は対立・紛争の二十世紀を、平和・共存・協力・繁栄の二十一世紀にするため、リーダーシップを発揮してほしい」

「沖繩平和宣言」発信を アジアの安定に好影響

「一九七五年の始まりは石油危機に対処する経済サミットで、七九年の旧ソ連のアフガニスタン侵入以降は政治サミットとなり、冷戦後はロシアを加え安全保障サミットの趣。南北問題も取り上げられ、累積債務問題、開発途上国重債務国の救済につながっている」

「核不拡散、軍縮、民族問題、温室効果ガス削減、国際金融システムなど、安全保障やグローバルな政治経済のみならず各国の国内政策にも影響する問題を網羅。サミットはEUやアジアの地域国家連合が戦前のブロック経済復活ではなく、グローバル化の推進力となるよう指導力を

「富める国と貧しい国がどううまくやるか、G8は努力すべきだ。最貧国の債務帳消し問題は昨年のケルン・サミットの公約だが、前提として最貧国にも国家再建プランを出してもらう必要がある。帳消しの余剰金で、武器を買うことがあってはならない。重債務国の輸出品に關稅をかけたのも援助になる」

「沖繩サミットは、何を発信すべきか。『戦争の世紀の犠牲者である沖繩から、『沖繩平和宣言』を出すことだ。例えば『八カ国の間では、戦争はしない。世界のいずれかの地域で不安定化ないし、紛争の予兆があるときは、各国の基本法の権能の範囲内で最大限協力し

「戦争の世紀の犠牲者である沖繩から、『沖繩平和宣言』を出すことだ。例えば『八カ国の間では、戦争はしない。世界のいずれかの地域で不安定化ないし、紛争の予兆があるときは、各国の基本法の権能の範囲内で最大限協力し



ロンドン大学政治経済学院

宇田 信一郎氏

うだ・しんいちろう
 ロンドン大学政治経済学院・国際社会経済フォーラム会長、G8リサーチ・グループ会員。英国王立国際問題研究所会員。元NHK会長室主幹。英国政府、シンクタンクで講演多数。